

安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品

製品名 尿素水
整理番号 SMD-2-1

供給者情報

会社名 株式会社島田商店
住所 東京都墨田区東向島 2-40-3
電話番号 03-3613-1328
FAX 番号 03-3614-6374
緊急連絡先 090-2337-3889
メールアドレス info@shimada-shoten.co.jp

推奨用途及び使用上の制限

生物処理用栄養剤、活性汚泥用栄養剤、脱硝用添加剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類（尿素として）

火薬類	;	区分外
可燃性	;	区分外
自己反応性物質及び混合物	;	区分外
水と接触して可燃性/引火性ガスを発生する 物質及び混合物	;	区分外
酸化性	;	区分外
有機過酸化物	;	区分外
急性毒性（経口）	;	区分外
急性毒性（経皮）	;	区分外
皮膚腐食性/刺激性	;	区分外
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	;	区分 2A-2B
皮膚感作性	;	区分外
水棲環境有害性 急性	;	区分外
水棲環境有害性 慢性	;	区分外

※ 記載のないものは分類対象外または分類できない

ラベル要素

絵表示



注意喚起語

警告

危険有害性情報

皮膚刺激性

強い眼刺激性

GHS分類に該当しない他の危険性

高温加熱によりアンモニアガスを発生することがある。

強酸化剤との接触・混載禁止。

3. 組成及び成分情報

単一化学物質・混合物の区別；単一化学物質

成分 1

化学名又は一般名	:	尿素
別名	:	炭酸ジアミド、カルバミド
化学式又は構造式	:	$\text{CH}_4\text{N}_2\text{O}$
CAS No.	:	57-13-6
成分及び含有量	:	19~40%
官報公示整理番号	:	(化審法) 2-1732

4. 応急処置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。異常がある場合には直ちに医師の手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水で洗うこと。痛みや外観の変化が見られる場合、直ちに医師の手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。痛みや異物感が残る場合には直ちに医師の手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師の手当てを受けること。

応急措置をする者の保護

保護具（保護手袋・保護眼鏡等）を適切に着用すること。

医師に対する特別な注意事項

症状に応じた治療を行う。

5. 火災時の措置

消火剤

本製品自体は燃焼しない。

消火方法

周辺火災の場合は、速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器に散水して冷却し、容器の破壊を防止すること。

消火を行う者の保護

保護眼鏡、保護手袋、防護衣、ゴム長靴等を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

作業の際には、保護具を着用すること。

環境に対する注意事項

水棲生物に有害なため、回収時に海、河川等に流入しないようにすること。

除去方法

漏出した場合にはロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止すること。

少量の場合には、ウエス等で拭き取ること。

多量の場合には土壌等で拡散防止を計ってから、ポンプ等でドラム、タンク又はローリーに出来るだけ回収すること。

回収できない残分は、大量の水で洗い流すこと。

7. 取扱及び保管上の注意

取り扱い	技術的対策	；	漏れ、あふれ、飛散しないようにすること。
	作業者の暴露防止	；	保護具(保護手袋・保護眼鏡等)を必ず着用すること。
	注意事項	；	眼、皮膚、衣類との接触を避けること。
保管	適切な保管場所	；	高温加熱によりアンモニアガスを発生することがある。強酸化剤との接触・混載禁止。
	容器包装材料	；	ポリ容器の使用を推奨。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

密閉された装置、機械又は局所排気装置を使用すること。

取り扱い場所の近くに洗身シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明確に表示すること。

暴露限界値

管理濃度		設定されていない
許容濃度	日本産業衛生学会	記載なし
	ACGIH	記載なし

保護具

呼吸器の保護具	；	防塵マスク
手の保護具	；	保護手袋
眼の保護具	；	保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	；	一般作業服

9. 物理的及び化学的性質

外観	；	無色、又は、わずかに着色した液体
臭い	；	無臭、又は、わずかなアンモニア臭
pH (20℃)	；	8.0~9.5
融点	；	-7℃(20%)、-20℃(30%)、0℃(40%)
沸点	；	約 105℃
引火点	；	不燃性
発火点	；	不燃性
爆発範囲	；	不燃性
蒸気圧	；	データなし
蒸気密度	；	データなし
比重	；	1.0~1.2(25℃)
溶解性	；	水に無限に溶解
分解温度	；	データなし
オクタノール・水	；	データなし
分配係数		
自然発火温度	；	不燃性

10. 安定性及び反応性

安定性

非常に安定した物質であり、不燃性で、水・空気との接触による反応はない。高温加熱により、アンモニアガスを発生する可能性がある。

反応性

非常に安定した物質であり、不燃性で、水・空気との接触による反応はない。次亜塩素酸ソーダを反応して、爆発性のある三塩化窒素を生成する。

避けるべき材料

適切な容器材料；ポリ容器

危険有害な分解生成物

なし

11. 有害情報

尿素 20%として；

急性毒性 ; 経口 ラット LD₅₀ 71500mg/kg
マウス LD₅₀ 57500mg/kg

上記数値より区分外と判断した。

皮膚腐食性・刺激性； ヒト 66mg/3日(断続的) 軽度
ウサギ皮膚に20時間半閉塞適用により、刺激性なし(分類できない)と判断される。

生殖細胞変異毒性； ヒトのDNAに660mg/L投与し、リンパ球の変化を観察した論文がある。また、ヒトのDNAに50mg/L投与し白血球の変化を観察した論文がある。いずれの論文でも特別な評価はなく、分類できない。

発がん性； ラット及びマウスの経口投与による慢性毒性・発がん性スクリーニング試験でいずれの動物種とも腫瘍発生頻度の増加は認められていない。したがって分類できない。

12. 環境影響情報

生体毒性

魚毒性 ; ウグイ LD₅₀ 96h 5000mg/L
ウグイ危険濃度 80000~150000ppm 以上

残留性・分解性 ; データなし

生体蓄積性 ; データなし

移動性 ; データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託すること。

廃棄物が少ない場合は、大量の水で希釈して廃棄すること。

汚染容器・包装

内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託すること。

14. 輸送上の注意

国連分類 危険物に該当しない

国連番号 なし

海洋汚染物質 有害汚染物質(Z 類物質)

15. 適用法令

- | | | |
|---------------|---|------------------------|
| (1) 化管法 | ; | 該当せず |
| (2) 労働安全衛生法 | ; | 該当せず |
| (3) 毒物及び劇物取締法 | ; | 該当せず |
| (4) 火薬取締法 | ; | 該当せず |
| (5) 高压ガス保安法 | ; | 該当せず |
| (6) 消防法 | ; | 該当せず |
| (7) 化審法 | ; | 既存化学物質(2-1732) |
| (8) 船舶安全法 | ; | 該当せず |
| (9) 海洋汚染防止法 | ; | 施行令別表第 1 有害液体物質(Z 類物質) |

16. その他の情報

本データシートは、改訂日時時点で公表されている情報を元に作成していますが、物質や有害性、法規制に関する情報などは、今後新しい知見が公表された場合、変更になる可能性があります。

MSDS の作成及び改定

2011 年 4 月 18 日 作成